「『ダメ。ゼッタイ。』普及運動」における街頭キャンペーン・厚生労働大臣メッセージ

今日、覚醒剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の乱用が深刻な社会問題となっています。

これらの薬物は、一度でも手を出すと、自分の意思では止めることが極めて難しくなります。自らの体や心をむしばむだけでなく、家族や周りの人々の人生をも取り返しのつかないものにしてしまうため、絶対に使用してはいけません。

我が国では、近年、大麻について検挙人員が、過去最高を更新し続け、増加の一途を辿り、昨年は、四千人を上回っていまして、そのうち半数以上が十代及び二十代の若年層であります。深刻な問題となっています。

インターネットの普及により、SNS等では「大麻は害がない」と誤った情報が拡散されています。大麻は害悪ですが、覚醒剤などの脳へ影響を及ぼすものであり、その害は他の薬物と何ら変わりません。

また、覚醒剤については、昨年は、初めて二トンを超え、大麻については、四年連続で一トンを超えました。これを含む違法な薬物は、インターネットを利用した密売が横行しており、大変憂慮すべき事態です。さらに、危険ドラッグが、脅威となっています。

覚醒剤、大麻、危険ドラッグなどから自分自身を守るためには、どんな人から誘われても、きっぱりと断る勇気を持つことが何よりも大切です。皆様一人ひとりが、「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、薬物乱用防止の輪を大きく広げていただき、ともに薬物乱用を許さない社会を作っていきましょう。

令和二年六月二十七日

厚生労働大臣　加藤　勝信